

2024年度 社会福祉法人いなりやま福社会事業計画

はじめに

2024年 元旦、能登半島を震源とする震度7の地震発生。被災された皆様、そして障がいのある人たちは今どうしているのか、心よりお見舞い申し上げます。そして一日も早く復旧できるように祈るばかりです。せめて気持ちだけでもと思い各事業所に募金びんを設置し、利用者さんと一緒に募金活動をしています。

災害時、障がいのある人や高齢者が避難し、命をつなぐ「福祉避難所」、今回の能登半島地震では施設の建物被災や断水、また職員家族が被災してしまい深刻な人手不足と離職が相次ぐ事態が発生し、そのあり方が課題となっていると聞いています。

2021年度の報酬改定では、全ての障がい福祉サービス等事業者はBCP（業務継続計画）を策定し2024年から必要な研修訓練を定期的実施することが義務づけられました。地震や風水害など大災害時や感染症蔓延といった緊急時に重要な事業を継続、また早期に復旧させるためあらかじめ策定する計画で、当法人でも事業所毎にBCPを策定しました。「いつ、誰が、どこで、何を」するのか、必要物資の調達等、情報を的確に把握しながら研修訓練をおこない、いざという時に利用者さんの「生命・財産・安全」を守る仕組みづくりをこの機に考えていきたいと思ひます。

障がい福祉サービス事業は、介護保険事業同様に3年に一度大きな報酬改定があります。基本報酬や加算、事業所の人員要件も変わり、事業運営もその都度見直す必要があります。2024年度はその改定年度にあたり、改定内容と概要が公表されました。全体の傾向としては「基本報酬を減らし、減った部分は加算で補填」という内容です。相も変わらず就労継続支援B型は平均工賃で報酬額に差がつけられ、生活介護事業は日額払いから時間払いへと変わり、「はなたば」でも大きな影響が懸念されます。

今、福祉・介護分野では人手不足や物価高騰が深刻な問題となっています。当法人でも加盟している全国組織「きょうされん」では1,000か所以上の事業所に昨年職員不足の実態調査を行った結果、障がい福祉分野の「職員不足」は深刻な問題と提起されました。そして調査結果は多くのマスコミにも取り上げられました。今回の報酬改定では現場の声がまったく反映されず、報酬の減額は職員の離職、ひいては支援の水準を引き下げてしまう結果となりかねず、社会保障の持続可能性を高めていく粘り強い運動が必要です。

2024年度報酬改定に当法人として創意工夫をしながら対応はしていきますが、大事なことのひとつは職員の待遇改善と処遇改善を充実させ、長く働いていかれる環境作りです。そのモチベーションがイコール利用者さんへの支援の充実につながるようにいっそう努力をしていかなければなりません。

□いなりやま福社会が目指していくこと

1 利用者さんが主人公の施設づくり

- ・利用者さんや家族の願いに寄り添う支援を心掛けます。

2 職員集団が学びあい、共に成長する

- ・働く職員が、仕事に誇りとやりがいを感じながら、実践や事業を学び合い希望をもって働き続けられる職場を目指していきます。

3 安定した事業所運営と地域に開かれた法人

- ・透明性の確保・改善・向上、そして安定した運営のために、支援力向上によるサービス内容の充実にも努力します。

4 社会保障制度の充実

- ・障がいのある人が自分らしく生きていくための支援が当たり前を受けられる社会にするため、障害者運動を展開していきます。

□各事業所重点目標

① 就労事業所（満天の星・いなりやま共同作業所）

- 自主製品製造販売の強化 □利用者さんの適正に合わせた作業の提供 □家族会やボランティアとの連携
- （満天の星）
 - ・千曲染め製品販路拡大・焼き芋・冷凍焼き芋の販売強化
 - ・外部清掃業務 ・青果物の生産、販売 ・資源回収
- （いなりやま共同作業所）
 - ・煎餅製造販売強化 ・縫製品の販路拡大
 - ・外部清掃業務 ・下請け作業の充実 ・就職支援、就職定着支援

※ 参考 長野県令和4年度就労継続支援B型事業所317か所 （ 令和3年度 ）

一人月額平均工賃 16,930円 （16,153円）

満天の星平均工賃 30,923円 （25,064円）

いなりやま共同作業所平均工賃 30,023円 （25,978円）

② 生活介護事業（はなたば・地域活動支援センターいなりやま）

- ・PT・OT・ST・看護師・支援員による体カトレーニングとリハビリテーションを充実
- ・文化芸術活動としての作品作りと展示発表
- ・市民農園での野菜・花づくり、干し柿、ジャム作り
- ・利用者さんの希望を聞きながらの余暇活動の充実

③ グループホーム（こんぺいとう・たんぼぼの家・ふっくら・いなほ）

- ・休日等の余暇活動の実施
- ・健康管理や食事面の充実
- ・短期入所の積極的な受け入れ
- ・世話人さんのスキルアップ

④ 相談支援（いなりやま福祉相談支援事業所・千曲坂城障がい者（児）基幹相談支援センター）

- ・基幹相談支援センターや千曲・坂城地域自立支援協議会、特定相談支援事業所、市町村と連携しながら幅広い相談に対応できるよう総合的・専門的な相談支援を実施

法人設立20周年に続いて、2024年度は満天の星開設20年を迎えます。当時満天の星の建設費と備品設備費には約1億2千万円の費用が見込まれました。幸いにして土地は千曲市で購入していただき法人へ無償貸与いなりやま福祉会が20年以上にわたり、資源回収、映画会バザー等行い、コツコツと貯めたお金が1千5百万円、国・県の建設補助金が設備整備費含めて5千4百万円、千曲市坂城町からも1千6百万円、そして施設建設にあたり家族会からの多額なご寄付や800名を超える個人・団体様からも1千万円にもなるお力添えをいただきました。資金を捻出するためのイベント開催、また利用者さんも施設建設のための街頭募金を積極的におこなってきました。いなりやま福祉会が大きな目標に向かって一丸となり、ようやくたどり着いた知的障害者通所授産施設「満天の星」、長年の想いが現実の事となりました。ネーミングに込められた意味は「障がいがあっても夜空に燦然と輝く満天の星のようにこの地域でたくましく生きていこう」という想いが詰まっています。今、後を絶たない虐待や権利侵害は大きな社会問題になっています。福祉サービスを利用する利用者さんやご家族の皆様には不信や不安を与えることのないよう、いなりやま福祉会はSDGsに謳われる「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目指し、利用者さんの意志決定を尊重しながら一歩ずつ丁寧な実践を積み重ねていくことにより、地域の皆様から愛される社会福祉法人を目指していきたくと思います。

2024年度 社会福祉法人いなりやま福社会事業計画

- 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を行い、サービス向上に一段と努力する。
- 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障がい者総合支援法）に基づき健全な経営に努めていく。
- 地域に密着した法人として、誰もが安心して暮らせるよう地域福祉推進に一層努めていく。

1 理事会・評議員会の開催（内容）

6月	理事会	2023年度事業報告及び決算報告・監査報告
6月	評議員会	2023年度事業報告及び決算報告・監査報告
10月	理事会	2024年度上半期事業報告・補正予算・中間決算報告
3月	理事会	2024年度補正予算 2025年度事業計画・予算

2 事業運営

※2024年3月末現在

□就労継続支援B型事業「満天の星」の運営	(定員20名)	現29名
□就労継続支援B型事業「いなりやま共同作業所」の運営	(定員20名)	現25名
□生活介護事業「はなたば」の運営	(定員20名)	現28名
□地域活動支援センターいなりやまの受託運営	(定員10名)	現10名登録
□共同生活援助 こんぺいとうの運営	(定員5名)	現5名
□共同生活援助 たんぼぼの家の運営	(定員6名)	現6名
□共同生活援助 ふっくらの運営	(定員6名)	現6名
□共同生活援助 いなほの運営	(定員4名)	現4名
□短期入所 こんぺいとう	(定員1名)	
□短期入所 ふっくら	(定員2名)	
□いなりやま福社会相談支援事業所の運営		
□タイムケア事業		

- 3 いなりやま福社会を支援する会との連携強化 — 資源回収他各種イベント事業の共同実施 事務局体制強化。
- 4 サービス提供機関及び行政との連携強化 — サービス提供事業所、自立支援協議会、きょうされん他
- 5 職員の資質・専門性の向上 — いなりやま福社会法人理念に学びながら福祉に携わる職員として知識・援助技術の向上を図り、共有する。また学習・研修会等へは計画的に参加をしていく。
- 6 開かれた事業所運営 — 実習生・見学者・家族・ボランティア等の受け入れ。
- 7 感染症予防と非常災害 — 各事業所の日常的な感染予防と防災訓練の実施。BCP（事業継続計画）検証
- 8 建物・設備・備品・車両等の維持管理 — 助成団体等申請をしながら計画的に推進
- 9 その他 重要事項

※新規事業に向けての具体化を推進 公益財団法人 JKA（競輪・オートレース）への補助申請

※社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業補助金（5百万円）作業所の蛍光灯をLED交換とエアコン交換
長野県共同募金会社会福祉施設整備配分事業（2百万円）たんぼぼの家 ガスボイラー・給湯器更新工事実施

※ホームページ、機関誌等を有効利用し、いなりやま福社会の広報活動・渉外活動を強化

※利用者さんの高齢化と障がい特性、ご家族の介護力低下問題等、今後の支援のあり方を検討

※SDGsへの積極的な取り組み、委員会の充実

※権利擁護・虐待防止・苦情解決等の案件へは速やかに対応

サービスの名称	内容
<input type="checkbox"/> 自宅での生活を支援するサービス	
居宅介護	自宅で、入浴や排泄、食事などの介助や、部屋の掃除、洗濯などの支援
重度訪問介護	重度の障害があり常に介護が必要な方に対して、居宅介護の支援に加えて、見守りや外出を含めた長時間支援
重度障害者等包括支援	介護の必要性が非常に高い方に対して、居宅介護などの障害福祉サービスを包括的に組み合わせた支援
<input type="checkbox"/> 外出を支援するサービス	
同行援護	視覚障害により移動に支援が必要な方に対して、外出に同行して、移動の支援や代筆・代読・代行を行う。
行動援護	知的障害や精神障害により行動が困難で、常時介護が必要な方に対して必要な介助や外出時の移動を支援する。
移動支援	屋外での移動に支援が必要な方に対して、円滑に外出できるように移動の支援を行う。
<input type="checkbox"/> 昼間の活動を支援するサービス	
※生活介護	常に介護を必要とする方に対して入浴、排せつ、食事の介護を行うと共に創作的活動、生産活動の機会を提供する。
※地域活動支援センター	創作的活動または生産活動の機会の提供や、社会との交流等を行う。
<input type="checkbox"/> 一時的な支援を行うサービス	
※ショートステイ	介護者が病気などの場合や休息を必要とする場合に、短期間施設に宿泊し、食事や入浴の介助を行う。
日中ショート	介護者の都合で一時的に見守りが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行う。
※タイムケア	昼間、家族がいない時などに市または町に登録してある事業所または介護者宅で見守り等を行う
日中一時支援	昼間、家族がいない時等に施設で職員が見守り等を行う。
<input type="checkbox"/> 自立や就労を支援するサービス	
自立訓練	地域で生活するために必要な身体のリハビリ訓練や身の回りのことを自分でできるようになるための訓練を行う。
就労移行支援	一般企業で働くことを希望する方に対して、一定期間、就労に必要な訓練や相談支援を行う。
※就労継続支援（A ○ B型）	一般企業で働くことが難しい方が、支援を受けながら働く場
就労定着支援	一般就労した方が継続して就労できるように相談支援を行う。
自立生活援助	単身等で居宅生活を送る方が、地域でも生活を継続できるよう、定期的に訪問して日常生活の相談支援を行う。
<input type="checkbox"/> 住まいの場としてのサービス	
※グループホーム	共同生活を行う住居で、入浴や排泄、食事の介助や日常生活上の支援を行う 居室は原則個室
宿泊型自立訓練	地域での生活を目指す方に対して、住居を提供して家事等の日常生活の訓練や相談支援を行う。
福祉ホーム	住居を必要としている人に対して、住居等を提供すると共に、日常生活に必要な支援を行う。
施設入所	自宅での生活が難しい方に対して、入所して生活する施設
療養介護	医療と常時介護を必要とする方に対して、医療機関に入所
<input type="checkbox"/> 相談の場としてのサービス	
※基本相談支援	相談に応じ、必要な情報の提供、社会資源の活用等について助言や支援を行う。

2024年度障害福祉サービス等報酬単価について（一部）

就労継続支援B型（満天の星・いなりやま共同作業所）定員 20名

2023年度		2024年度	
平均工賃月額 30,000円以上35,000円未満 (職員配置7.5:1)		平均工賃月額 30,000円以上35,000円未満 (職員配置7.5:1)	同 (※職員配置6:1)
基本報酬 657単位		基本報酬 669単位	基本報酬 758単位
加算部分 132単位		加算部分 43単位	加算部分 98単位
合計 789単位		合計 712単位	合計 856単位

生活介護（はなたば）定員 20名

2023年度（職員配置1.7:1）		2024年度（職員配置1.7:1）		
区分	1日	8時間～9時間未満	7時間～8時間未満	6時間～7時間未満
区分6	1,288単位↓+加算	1,353単位↓+加算	1,291単位↓+	1,258単位↓+
区分5	964単位	1,027単位	966単位	941単位
区分4	669単位	730単位	669単位	652単位
区分3	599単位	660単位	598単位	583単位
区分2以下	546単位	607単位	545単位	532単位
加算部分	基本報酬+315単位	+308単位	+308単位	+308単位

共同生活援助（こんぺいとう定員5名・たんぽぽの家定員6名・ふっくら定員6名・いなほ定員4名）

区分	2023年度（職員配置4:1）	2024年度（職員配置6:1）
区分6	1,016単位	949単位
区分5	901単位	805単位
区分4	820単位	721単位
区分3	685単位	601単位
区分2	551単位	447単位
区分1	502単位	430単位

短期入所（こんぺいとう1名・ふっくら2名）

区分	2023年度		2024年度	
区分6	925単位	(611単位)	945単位	(624単位)
区分5	789単位	(538単位)	806単位	(549単位)
区分4	656単位	(333単位)	670単位	(340単位)
区分3	592単位	(257単位)	605単位	(262単位)
区分2以下	520単位	(191単位)	531単位	(195単位)
		()内 日中活動あり		()内 日中活動あり

計画相談支援・障害児相談支援（いなりやま福祉会相談支援事業所）

	計画相談支援		障害児相談支援	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
新規/更新	1,627単位	1,662単位	1,797単位	1,856単位
モニタリング	1,365単位	1,398単位	1,481単位	1,538単位

2024年度 就労継続支援B型「満天の星」事業計画

1 目的

事業所に雇用されることが困難な人を対象に能力に応じた生産活動、その他の活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練の提供を行う

2 運営方針及び支援目標

- ・利用者さんが自立した日常生活又は、社会生活を営むことが出来るよう工賃向上を目指す
- ・意志及び人格を尊重し個別支援計画に基づいたサービス提供に努める
- ・生まれ育った地域で生き活きと働くために地域との結びつきを大切にする
- ・社会の一員として自信と責任を持って働くことができる支援を目指していく
- ・利用者さんを支える関係機関と連携を図り、社会生活及び地域生活での自立を促していく
- ・感染対策、自然災害に対する備えを強化し安心できる環境を提供する

3 事業方針

- ・企業との信頼関係強化のため、ニーズに合わせた柔軟な対応を心掛ける
- ・社会情勢に流されないため分散した収入源の確保、ストレングスを活かした人員配置
- ・安定した高工賃を目指すため収益性の高い新規作業の導入
- ・地域に根ざした販売活動、ECサイトを活用した全国的な販売の拡大
- ・家族会、ボランティアと連携し生産能力の向上を図る
- ・社会参加の機会を通じ多くの人とふれあい、生き生きと生活出来るような支援
- ・健康を維持し安定した生活ができるための支援
- ・個別支援計画に基づいた将来を見据えた支援

4 事業内容

□就労支援事業

請負作業：お土産用箱折り・消火器部品梱包用の箱製作・工業製品の検品、組み立て、梱包
プラスチック製品の検品、組み立て、印刷業務、地元農家での生産物収穫作業
外部清掃業務(県庁、戸倉庁舎、アパート共有部)・サービスエリアの植栽活動、除草作業

販売作業：夏季、冬季販売事業、モロコシ販売、野菜販売

自主製品：千曲染め、縫製製品の製造、販売・焼き芋、冷凍焼き芋製造、販売・喫茶営業
ECサイトを活用した販売、出張販売(県庁ピロティ、公民館)を増やし売上を上げていく
自社農園を管理し農産物の生産、販売(ピーマン、枝豆、りんご)

資源回収：地域企業、団体、個人宅への資源回収(SDGs活動)

□地域生活・社会参加事業

行事余暇：休日のイベント企画、参加・地域行事への出店・休日の開所日

仲間の会を中心とした活動・お花見・外出・テイクアウト・書初め・初詣

地域生活：相談支援事業所や関係機関との連携を通じて持続的な生活支援

グループホームとの連携により、利用者さんが自立した生活を目指せる機会の提供

個別支援計画、健康、衛生管理、環境整備事業

ケース検討会の毎月実施、サービス管理責任者を中心とした個別支援計画の作成

体重測定・血圧測定・病院受診時の付添・健康診査・健康相談・インフルエンザ予防接種

□防災対策・感染症対策

年2回防災訓練の実施・消防設備点検・定期的なBCPの見直し

看護師を中心とした基本的な感染対策、予防の徹底

2024年度 就労継続支援B型「いなりやま共同作業所」事業計画

1 目的

事業所に雇用されることが困難な人を対象に能力に応じた生産活動、その他の活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練の提供を行う

2 運営方針及び支援目標

- ・利用者さんが自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう工賃向上を目指す
- ・利用者さんの意志及び人格を尊重し、個別支援計画に基づいたサービス提供に努める
- ・生まれ育った地域で生き活きと働くために結びつきを大切にする
- ・社会の一員として自信と責任を持って働くことができる支援を目指していく
- ・利用者さんを支える関係機関と連携を図り、社会生活及び地域生活での自立を促していく
- ・感染対策、自然災害に対する備えを強化し、安心できる環境を提供する

3 事業方針

- ① エンパワメントを高め、発揮できる環境を整える
- ② ストレngthsを活かした生産活動を行う
- ③ 家族会やボランティアと連携し、地域との結びつきを大切にする

4 事業内容

○生産活動について

下請け作業

利用者さんの特性や高齢化に対応するため無理なく作業が継続できるよう、環境整備と作業量の確保をする

単価の良い作業を請け負うことで工賃アップに努める

(箱折り、溶接用火口部品の包装、ポスティング、ウエス、食品の計量、検品、シール貼り等)

清掃作業

地域との繋がりを持ち、責任を持って作業に取り組む (県庁清掃、除草作業、トイレ清掃等)

資源回収

地域との繋がりを大切にし、SDGsの取り組みとして行う

(段ボール、新聞、雑誌、古紙、アルミ缶、牛乳パック、古タオルや綿の布の回収)

販売事業

これまで培ってきた地域との繋がりを大切にし販売活動を継続する

縫製作業

利用者さんの適性に合わせた作業を提供し、育成していく

品質を向上し、仕入れた物は無駄なく使用する。

さをり織りは製品をシリーズ化し年2回新製品を販売し売り上げを伸ばす

今後は、縫製品の販売方法を検討していく

(保育園入園グッズ、さをり織りグッズ、ふれあい訪問品等)

煎餅作業

利用者さんの適性に合わせた作業を提供し、育成していく

フードプリンターを活用し販売商品を増やす。また、パッケージの工夫をし販売先を増やし売り上げを伸ばす

経年劣化が進んでいる製造機器の修繕とメンテナンスを行い、生産性の向上を目指す

対面販売や委託販売の他にネット販売の需要を開拓していく

(さくさくせんべい製造販売、プリントせんべい製造販売、季節にあわせたせんべい製造販売)

就職支援・就職定着支援

関係機関と連携し、一般企業への就職を希望されている利用者さんへの就労サポートを行う
就職し働き始めてから生じた課題の把握、就職後のサポートを関係機関と連携し行う

○その他

・健康管理・感染症対策

年1回の健康診査や健康相談を行い、健康管理に努める。

(体重測定、血圧測定、インフルエンザ予防接種他、手指消毒等の清潔保持、施設内の換気等)

・地域生活

社会参加活動、スポーツ活動等を行い利用者さんの豊かな社会生活をサポートする

(旅行、スポーツ教室、パソコン教室、書初め、絵手紙、四季折々の活動)

・環境整備

働きやすく快適で清潔な環境づくりを心掛ける

・防災対策

火災、地震、水害等の災害に備えた避難訓練の実施、施設内の防災設備の点検

○職員について

障害の理解を深め、よりよい支援ができるよう会議や研修会に積極的に参加する。報告会を行う事で学びを共有しスキルアップを図る

(合同職員会・研修報告会・職員会・ケース会議・各種研修会への参加)

地域との協働を大切にし、行事等積極的に参加する

家族会やボランティアとの繋がりを大切にする

関係機関と連携を図り見学や体験を積極的に受け入れ、利用者さんの確保に努める

2024 年度 生活介護事業「はなたば」事業計画

1 目的

利用者さんが自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援し、加えて創作的活動または生産的活動の機会を提供することにより、やりがいや楽しみを感じながら、仲間づくりと社会参加の道を開くことを目的とする。

2 運営方針及び支援目標

- (1) 個別支援計画に基づき、利用者さん個々のニーズに合った質の高いサービスの提供。
- (2) 利用者さんの意思と人格を尊重し、誠意あるサービスの提供。
- (3) 地域との結びつきを大切にする。
- (4) 生活支援（余暇活動）及び健康管理に努める。
- (5) 感染症対策を強化し、安全で衛生的なサービスの提供。
- (6) 自然災害に対する備えを強化し、利用者さんの安全確保に努める。

3 事業内容

- (1) 創作活動 季節の装飾・行事の装飾・大型壁画作り ちぎり絵 塗り絵 書道 地域のギャラリーや「さんきゅーあーと展」への出展他
- (2) 作業活動 下請け作業 清掃作業 年賀状・名刺等印刷作業 販売事業のチラシ配り・商品の配達 ポチ袋作り 干し柿作り ジャム作り 市民農園での野菜作り 花の苗作り 紙漉きはがき・しおり作り 編み物製品作り他 新製品の創作、販売
- (3) 機能訓練 散歩 ストレッチ ランニングマシン・エアロバイクを使用した筋力トレーニング他 重度化・高齢化に備え、個々の利用者さんに合わせた体づくり・筋力低下防止・誤嚥防止等、専門職（PT・OT・ST）によるリハビリテーション PT・OT・ST・看護師・生活支援員によるチーム支援他
- (4) 余暇活動 DVD鑑賞 カラオケ ボーリング等室内レクリエーション 楽器を使用した音楽活動 収穫祭（はなたばれすとらん 焼き芋大会等） 誕生日会 花火大会 クリスマス会 忘年会 新年会等季節の行事 調理活動他
- (5) 外出活動 お花見・紅葉見学・初詣等季節の外出 買い物・外食・ドライブ等利用者さんの希望する個別の外出他
- (6) SDGs 活動 牛乳パックを再利用した紙漉き 地域のゴミ拾い他
- (7) 入浴支援 更衣介助 洗身・洗髪介助等、職員2名体制による個々の利用者さんに合わせた安全な入浴支援 同性介助の推進
- (8) 健康管理 口腔ケア 服薬管理 バイタルチェック ボディチェック 体重測定 病院受診時付添他
- (9) 生活一般 個々の利用者さんに合わせた食事形態の提供、食事介助 利用者さんの尊厳に配慮した排泄介助
- (10) 環境美化 花々を育てる 草取り活動他
- (11) 感染症対策 手洗い・うがい・手指消毒等の清潔保持介助 検温 施設内の消毒 換気
- (12) 防災対策 火災、地震、水害等の災害に備えた避難・防災訓練の実施 施設内の防災設備の点検 備蓄品の管理他

□2024 年度報酬改定に伴い

- ・職員体制を 1.7 : 1 から 1.5 : 1 の配置にすることによる手厚い支援と、専門職による機能訓練の充実
- ・利用者さんのニーズに対応した時間延長の検討

2024年度 地域活動支援センターいなりやま事業計画

1 目的

障がいのある人や地域活動支援センターを必要とされる人に対して、地域の実情に応じ、個々のニーズに合わせ、働く機会ならびに創作活動や社会参加を保障することを目的とする。

2 運営方針及び支援目標

通所が困難な人への支援について、地域活動支援センター連絡会や関係機関等と連携し、家庭訪問、電話連絡等個別の支援をおこない、参加しやすい環境を整えていく。

3 事業内容

生産活動 創作活動 社会参加活動等、生活介護事業所「はなたば」と連携。また、地域活動支援センター独自の活動として利用者さんの希望を取り入れ、写真撮影会、パソコン教室、DVD鑑賞会などをおこなった活動をおこない魅力ある地域活動支援センターを目指していく。

2024年度 心身障害児（者）タイムケア事業計画

□対象者 在宅の障害児者（千曲市・長野市）で申請により登録された者

□利用方法 登録利用者は登録介護者と利用日時等を協議し承諾を得てからサービス利用

1 目的及び方針

心身障害児（者）が家庭において介護を受けることができず、一時的に介護を必要とする場合に、その心身障害児者及び家族の地域生活を支援する。

2 事業内容

一時的な介護サービスの提供

2024年度 給食事業計画

- 1 安心して食事をしていただけるように衛生管理を徹底していく。
- 2 旬の食材の活用やイベント食など取り入れた献立作成をしていく。
- 3 利用者の皆さんの意見を取り入れながら、心身の特徴に配慮した献立を考えていく。
- 4 給食担当者会議での意見・要望を取り入れながら給食の提供をしていく。
- 5 給食嗜好調査の実施

2024年度 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター事業計画

構成メンバー 6名（いなりやま福祉会2名 廣望会3名 まごころ1名出向）

年間目標 出向く支援を心がけ、地域に埋もれている方の掘り起こしをしながら、同時に相談支援に携わる関係者と連携強化することで、必要な方へのサービス利用を後回しにしない支援体制を構築する。

活動計画

- 1 総合的・専門的な相談支援の実施
- 2 相談支援体制の強化
- 3 地域移行・地域定着促進への取り組み
- 4 権利擁護・虐待防止
- 5 当事者会充実
- 6 千曲・坂城地域自立支援協議会体制づくり

千曲・坂城地域自立支援協議会部会構成

（・こころ部会・こども部会・相談部会・はたらく部会・生活部会・さんさんネット部会）

2024年度 共同生活援助事業（グループホーム）

「こんぺいとう」「たんぼぼの家」「ふっくら」「いなほ」事業計画

1 目的

地域の中にあるグループホームで生活する人に対し、日常生活における支援等を行うことにより、自立生活を助長することを目的とする。

2 方針

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活ができるように、日常生活上の援助を社会資源と連携し適切且つ効果的なサービスの提供を行う。

3 内容

- (1) 食事提供、入浴支援、相談、通院支援、健康管理他、日常生活に必要な支援
- (2) 余暇活動、外食、外出活動を各ホームで計画実施
- (3) 地域行事への参加
- (4) ホームおたより紙面の充実
- (5) 感染症対策（検温・手洗い・うがい・手指消毒・換気・消毒等）
- (6) 防災訓練（年2回）の実施

※重点内容

- ・個別支援計画に基づいた支援の充実
- ・支援力の向上
- ・休日等余暇活動の計画的な実施

□2024年度からの報酬体系の中に、グループホームは地域連携推進会議を設置して、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取り組みを令和7年度から義務化とあるが、令和6年度は取り掛かりとして見学会等実施しながら外部からの助言を聞く機会を設けていきたい。

2024年度 短期入所「こんぺいとう」「ふっくら」事業計画

1 目的及び方針

障がい児（者）が居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障がい児（者）等に対し、日常生活上の支援を提供する。

2 内容

- (1) 定期的利用の実施
- (2) 体験利用の受け入れ
- (3) 緊急時対応の受け入れ

※重点課題

- ・ショートステイ稼働率アップ
- ・定期的な利用と新規ショート利用者の確保

2024年度 いなりやま福祉相談支援事業所事業計画

- 1 目的 障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活、または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。
- 2 方針
 - (1) 障害の種別を問わず、障害者児自らが望む場所で社会の一員として日常生活、または社会生活を営むことができるよう、課題等を把握したうえで適切な福祉サービス利用の支援を行う。
 - (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、合理的配慮を踏まえ、利用者や家族に寄り添い支援する。
 - (3) それぞれのニーズに合った社会資源を活用し、必要に応じて社会資源の開発を目指しながらより包括的な相談支援を実施する。
- 3 事業内容
 - (1) 指定特定相談支援事業
 - ① 計画相談支援
 - ・サービス利用支援：障害福祉サービス利用者に対して、サービス等利用計画の作成を行い、サービス提供事業所等との連携、連絡調整を行う。
 - ・継続サービス利用支援：定期的にサービス等の利用状況の検証を行い、必要に応じて計画の見直し、調整を行う。(モニタリング)
 - ② 基本相談支援
 - ・障害者児及び、その家族又は介護者等から社会生活を営む上での相談に応じる。
 - ・必要に応じて関係機関や事業所等との連絡調整を行う。
 - (2) 指定障害児相談支援事業
 - ① 障害児相談支援
 - ・障害児支援利用援助：障害児通所支援利用者に対して、障害児支援利用計画の作成を行い、サービス提供事業所との連携、連絡調整を行う。
 - ・継続障害児支援利用援助：定期的にサービス等の利用状況の検証を行い、必要に応じて計画の見直し、調整を行う。(モニタリング)
- 4 地域の体制作り
 - ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所、教育、行政、インフォーマルな資源とも連携を強化し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、社会資源の開発を行う。医療機関との関わりでは、必要な通院同行や情報提供を実施し、連携を密に支援を行っていく。
 - ・法人内の人材育成に関わる研修において、計画相談の目的、支援の流れ等、相談支援事業所の業務内容に触れ、周知することで、サービス提供事業所との連携をより深めていく。
- 5 相談支援専門員のスキルアップ
 - ・多様なケースに対応するため、研修や勉強会、外部の支援会議などに積極的に参加し、相談支援のスキルアップや、提案力の向上を目指す。
 - ・行動障害支援、精神障害者支援、要医療児者支援に加え、研修を受講し、高次脳機能障害者支援に関する専門性の高い知識を身につけ、根拠に基づいたプランニングを実施していく。

※障害福祉サービス利用の流れ

相談 → 申請 → 聞き取り → サービス等利用計画(案)作成 → 支援会議 → 審査判定 → 支給決定 → サービス等利用計画の作成 → 利用契約 → サービス利用開始 → モニタリング → 更新申請

いなりやま福祉会 令和6年度 年間計画

(2024年)令和6年4月			(2024年)令和6年5月			(2024年)令和6年6月				
1	月	辞令交付・対面式 ニュース発行	1	水		県	1	土		
2	火		2	木	屋代あけぼの会 (満)		2	日	長野地区障がい者スポーツ大会	
3	水		県	3	金		3	月		
4	木	屋代あけぼの会 (作)		4	土		4	火		
5	金			5	日		5	水	防災会議	
6	土			6	月		6	木	ニュース編集会議 屋代あけぼの会 (作)	
7	日			7	火		7	金		
8	月			8	水		県	8	土	パソコン教室
9	火			9	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会		9	日	
10	水		県	10	金			10	月	
11	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会		11	土	稲荷山地区下水清掃・常任委員会		11	火	
12	金			12	日			12	水	
13	土	パソコン教室		13	月	合同職員会		13	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会
14	日			14	火			14	金	
15	月	合同職員会		15	水		県	15	土	
16	火			16	木			16	日	
17	水		県	17	金			17	月	合同職員会
18	木			18	土	パソコン教室		18	火	
19	金			19	日			19	水	
20	土			20	月			20	木	
21	日			21	火			21	金	
22	月			22	水		県	22	土	
23	火			23	木			23	日	
24	水	給食係会 きょうされん長野支部総会	県	24	金			24	月	
25	木			25	土			25	火	
26	金	常任委員会		26	日			26	水	
27	土			27	月			27	木	
28	日			28	火			28	金	常任委員会
29	月			29	水		県	29	土	
30	火			30	木	避難訓練		30	日	
			31	金						
登所日数 21日 休日行事 1日			登所日数 21日 休日行事 2日			登所日数 20日 休日行事 2日				
家族会役員、管理者調整会議			法人理事会、支援する会総会 千曲市総合芸術祭 たんぼの家ワックスがけ ふれあい訪問事業			夏季販売事業 法人理事会 法人評議員会 福祉会運動会				

いなりやま福祉会 令和6年度 年間計画

(2024年)令和6年7月			(2024年)令和6年8月			(2024年)令和6年9月		
1	月	ニュース発行	1	木	屋代あけぼの会 (作)	1	日	
2	火		2	金		2	月	
3	水		3	土		3	火	
4	木	屋代あけぼの会 (満)	4	日		4	水	県
5	金		5	月		5	木	屋代あけぼの会 (満) ニュース編集会議
6	土	(稲荷山医療福祉センター祭り)	6	火		6	金	
7	日		7	水		7	土	県
8	月		8	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会	8	日	
9	火		9	金		9	月	
10	水		10	土		10	火	
11	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会	11	日		11	水	県
12	金		12	月		12	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会
13	土	パソコン教室	13	火	お盆休み・建設事務清掃	13	金	
14	日		14	水	建設事務清掃	14	土	パソコン教室
15	月		15	木	建設事務清掃	15	日	
16	火	合同職員会	16	金	建設事務清掃	16	月	
17	水		17	土		17	火	合同職員会
18	木		18	日		18	水	県
19	金		19	月	合同職員会	19	木	
20	土	(稲荷山祇園祭)	20	火		20	金	いな福祭り準備
21	日		21	水		21	土	いな福祭り
22	月		22	木		22	日	
23	火		23	金		23	月	
24	水	給食係会	24	土		24	火	
25	木		25	日	稲荷山地区資源回収 常任委員会	25	水	県
26	金	常任委員会	26	月		26	木	
27	土		27	火		27	金	常任委員会
28	日		28	水		28	土	
29	月		29	木		29	日	
30	火		30	金		30	月	
31	水		31	土				
登所日数 22日 休日行事 3日			登所日数 17日 休日行事 5日			登所日数 19日 休日行事 2日		
夏季販売事業 はなたばワックスがけ ふれあい訪問事業			夏季販売事業 ふっくらワックスがけ			グループホーム避難訓練 作業所ワックスがけ ふれあい訪問事業		

いなりやま福祉会 令和6年度 年間計画

(2024年)令和6年10月			(2024年)令和6年11月			(2024年)令和6年12月				
1	火	健康診査 ニュース発行		1	金			1	日	
2	水		県	2	土			2	月	
3	木	屋代あけぼの会 (作)		3	日	将軍塚まつり		3	火	
4	金			4	月			4	水	県
5	土			5	火			5	木	屋代あけぼの会 (作) ニュース編集会議
6	日			6	水	防災会議	県	6	金	
7	月			7	木	屋代あけぼの会 (満)		7	土	
8	火			8	金			8	日	
9	水		県	9	土	パソコン教室		9	月	
10	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会		10	日			10	火	
11	金			11	月			11	水	県
12	土	パソコン教室		12	火			12	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会
13	日			13	水		県	13	金	
14	月			14	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会		14	土	パソコン教室
15	火	合同職員会		15	金			15	日	
16	水		県	16	土			16	月	合同職員会
17	木			17	日			17	火	
18	金			18	月	合同職員会		18	水	県
19	土			19	火			19	木	
20	日			20	水		県	20	金	
21	月			21	木			21	土	きらきらコンサート グループホーム忘年会
22	火			22	金			22	日	
23	水	給食係会	県	23	土			23	月	
24	木			24	日			24	火	
25	金	常任委員会		25	月			25	水	県
26	土			26	火			26	木	
27	日			27	水		県	27	金	仕事納め・常任委員会
28	月			28	木			28	土	年末年始休業
29	火			29	金			29	日	
30	水	避難訓練	県	30	土	大掃除・常任委員会		30	月	
31	木							31	火	
登所日数 22日			登所日数 20日			登所日数 20日				
休日行事 1日			休日行事 3日			休日行事 2日				
こんぺいとうワックスがけ 満天の星ワックスがけ 事業所旅行・給食係会			冬季販売事業 イルミネーション インフルエンザ予防接種 ふれあい訪問事業			冬季販売事業				

いなりやま福祉会 令和6年度 年間計画

(2025年)令和7年1月			(2025年)令和7年2月			(2025年)令和7年3月		
1	水	ニュース発行	1	土	稲荷山公民館発表会	1	土	
2	木	グループホーム初詣	2	日		2	日	
3	金		3	月		3	月	
4	土		4	火		4	火	
5	日		5	水		5	水	県
6	月	仕事始め	6	木	屋代あけぼの会 (作)	6	木	屋代あけぼの会 (満) ニュース編集会議
7	火		7	金		7	金	
8	水		8	土	パソコン教室	8	土	パソコン教室
9	木	屋代あけぼの会 (満)	9	日		9	日	
10	金		10	月		10	月	
11	土	パソコン教室	11	火		11	火	
12	日		12	水		12	水	県
13	月		13	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会	13	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会
14	火		14	金		14	金	
15	水		15	土		15	土	
16	木	管理者会議・虐待防止委員会 苦情解決委員会	16	日		16	日	
17	金		17	月	合同職員会	17	月	合同職員会
18	土		18	火		18	火	
19	日		19	水		19	水	県
20	月	合同職員会	20	木		20	木	
21	火		21	金		21	金	
22	水	給食係会	22	土		22	土	
23	木		23	日		23	日	稲荷山地区資源回収 常任委員会
24	金		24	月		24	月	
25	土		25	火		25	火	
26	日		26	水		26	水	県
27	月		27	木		27	木	
28	火		28	金	常任委員会	28	金	
29	水		\			29	土	
30	木					30	日	
31	金	常任委員会				31	月	
登所日数 19日 休日行事 1日 職員面談 いなりやま福祉会新年会 ふれあい訪問事業 保育園座布団作り			登所日数 18日 休日行事 2日 保育園入園グッズ販売			登所日数 20日 休日行事 2日 保育園入園グッズ販売 法人理事会 グループホーム避難訓練 ふれあい訪問事業		